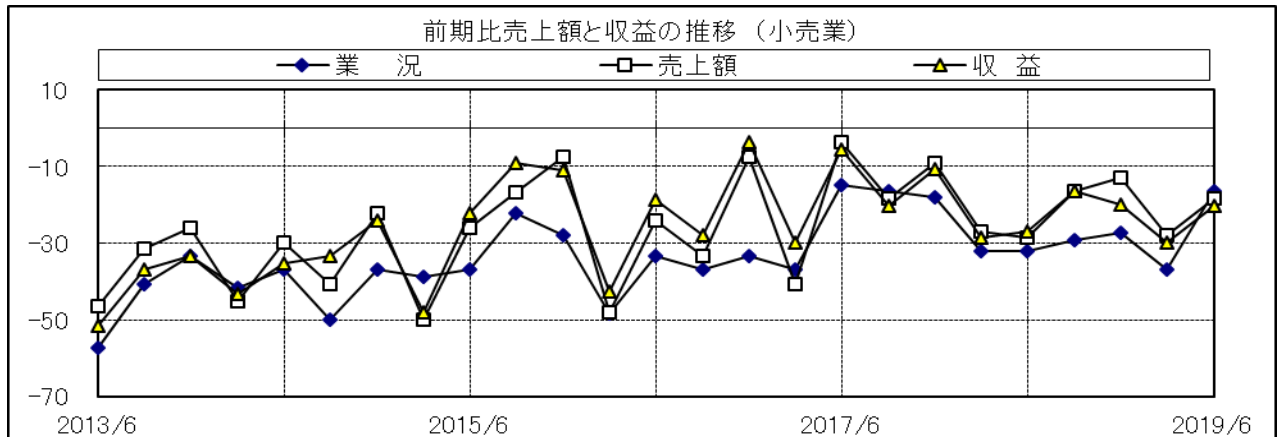


小 売 業 54 企 業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12 月 期 実 績	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績
業 況	-27.2	-36.9	-16.4	-16.4
売上額	-12.9	-27.8	-18.3	-14.5
収 益	-20.0	-29.7	-20.1	-14.6

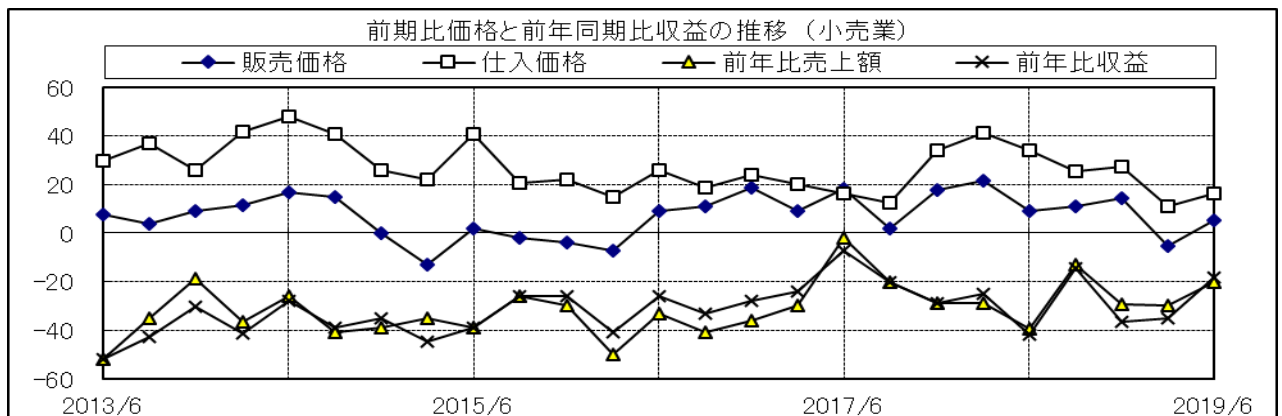
今期の業況判断 D. I. は△16.4 で、前期比 20.5 ポイント上昇、前年(△32.0)比 15.6 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、静内が最も高く、広尾、様似、浦河、えりもと続き、三石が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△18.3 で、前期比 9.5 ポイント上昇。収益判断 D. I. は△20.1 で、前期比 9.6 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	10～12 月 期 実 績	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 見 通 し
販売価格	14.6	-5.5	5.4	-1.8
仕入価格	27.4	11.1	16.4	7.2

販売価格判断 D. I. は 5.4 で前期比 10.9 ポイント上昇、前年(8.9)比 3.5 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 16.4 で前期比 5.3 ポイント上昇、前年(33.9)比 17.5 ポイント下降した。業種別の価格は、衣料品は販売、仕入が上昇。食料品は販売が上昇、仕入が下降。家電品は販売が下降、仕入は上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12 月 期 実 績	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 見 通 し
残業時間	-16.4	-1.9	-5.4	-3.6
人手状況	-18.2	-26.0	-21.8	-20.0

残業時間判断 D. I. は△5.4 で、前期比 3.5 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△21.8 で、前期比 4.2 ポイント上昇し、人手不足感が弱まった。

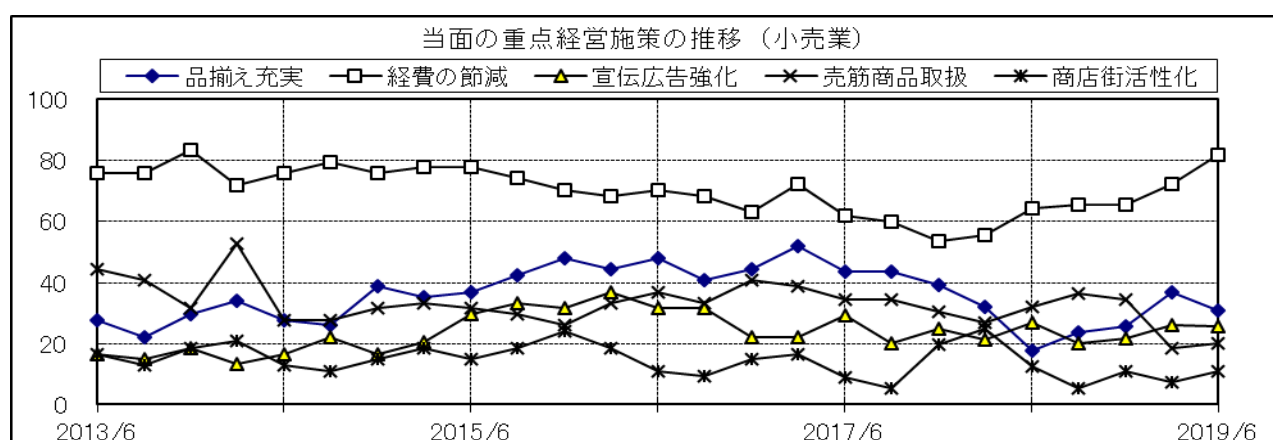
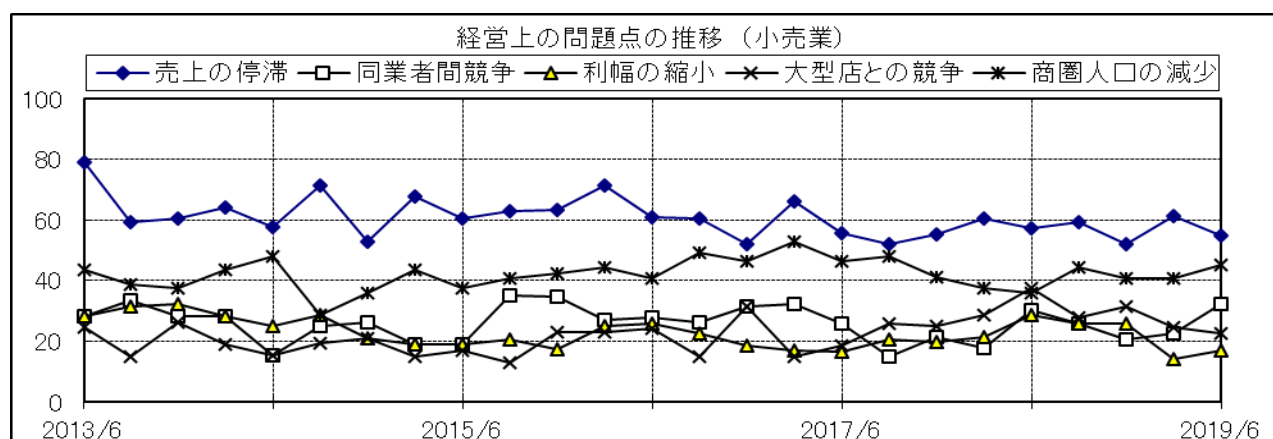
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示す D. I. は $\Delta 10.9$ で、前期 ($\Delta 18.5$) 比 7.6 ポイント上昇した。

設備実施企業割合は 1.8 で、前期 (1.9) 比 0.1 ポイント下降した。設備投資は、前期 1 社に対し 1 社の実施となった。来期の設備投資の予定は 4 社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が 54.7% と最も多く、「商圈人口減少」45.3%、「同業者競合」32.1%、「大型店競合」22.6%、「利幅縮小」17.0%、「人手不足」13.2%、「取引先減少」、「地場産業衰退」9.4%、「値上り要請」、「天候不順」5.7% となっている。重点経営施策では、「経費節減」が 81.8% と最も多く、「品揃え改善」30.9%、「宣伝広告強化」25.5%、「売れ筋商品取扱」20.0%、「商店街活性化」10.9%、「人材確保」9.1%、「仕入先開拓選別」7.3%、「店舗設備改善」5.5% となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は $\Delta 16.4$ と、今期と同水準を見通している。

予想売上額判断 D. I. は $\Delta 14.5$ と、今期比 3.8 ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断 D. I. は $\Delta 14.6$ と、今期比 5.5 ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断 D. I. は $\Delta 1.8$ と、今期比 7.2 ポイントの下降を見通している。

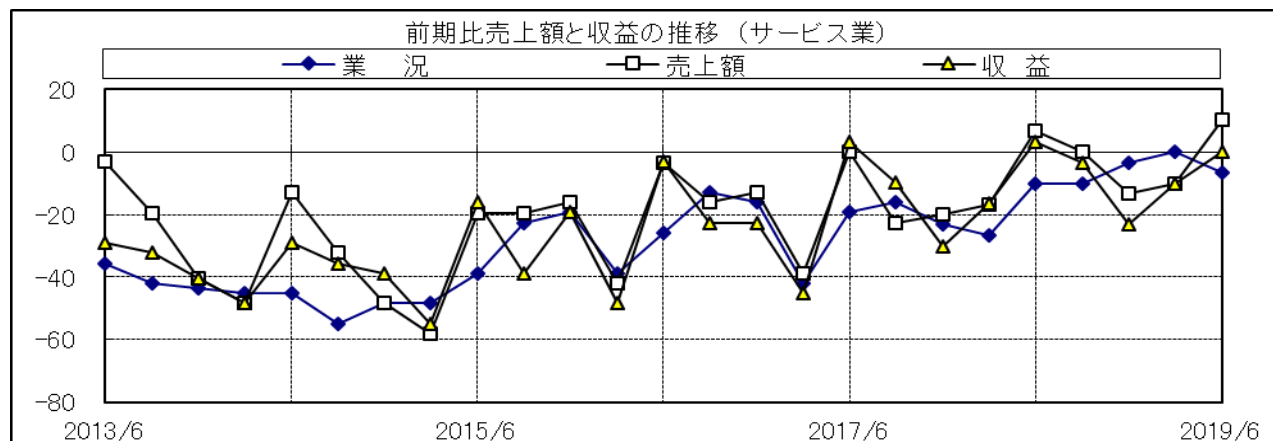
予想仕入価格判断 D. I. は 7.2 と、今期比 9.2 ポイントの下降を見通している。

サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
業 況	-3.4	0.0	-6.7	-10.0
売上額	-13.3	-10.1	10.1	-3.3
収 益	-23.3	-10.1	0.1	-6.6

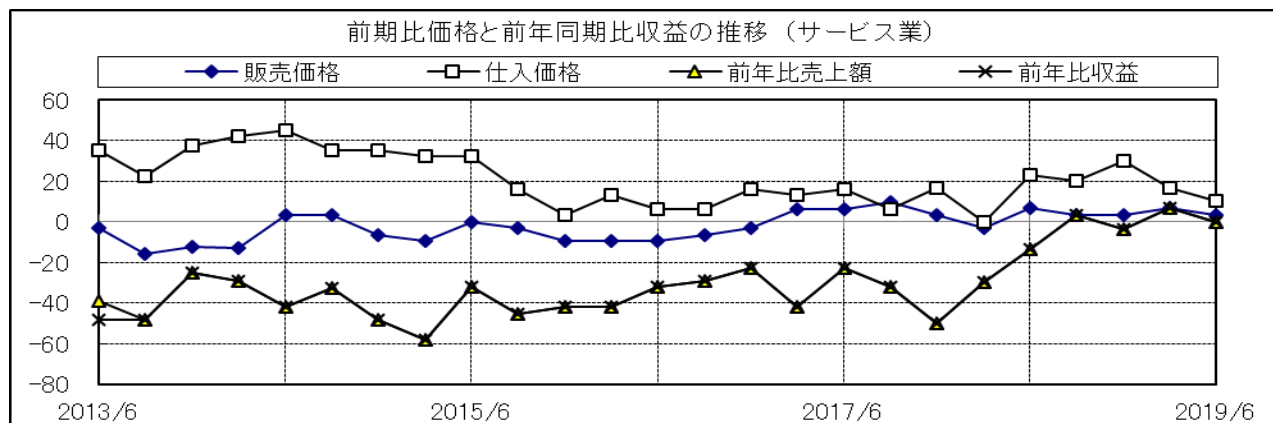
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 6.7$ で、前期比 6.7 ポイント下降、前年 ($\Delta 10.0$) 比 3.3 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、浦河が最も高く、様似、広尾が同率で続き、次に静内、えりもが同率、三石が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は 10.1 で、前期比 20.2 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は 0.1 で、前期比 10.2 ポイント上昇した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
料金価格	3.4	6.7	3.4	3.4
材料価格	30.0	16.7	10.0	16.7

料金価格判断 D. I. は 3.4 で、前期比 3.3 ポイント下降、前年 (6.7) 比 3.3 ポイント下降した。材料価格判断 D. I. は 10.0 で、前期比 6.7 ポイント下降、前年 (23.3) 比 13.3 ポイント下降した。業種別では、旅館業は料金が横這い、材料は下降。洗濯理美容業は料金は横這い、材料は上昇。自動車整備業は料金、材料ともに下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
残業時間	0.0	3.3	6.7	0.0
人手状況	-30.0	-13.3	-20.0	-20.0

残業時間判断 D. I. は 6.7 で、前期比 3.4 ポイント上昇、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 20.0$ で、前期比 6.7 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

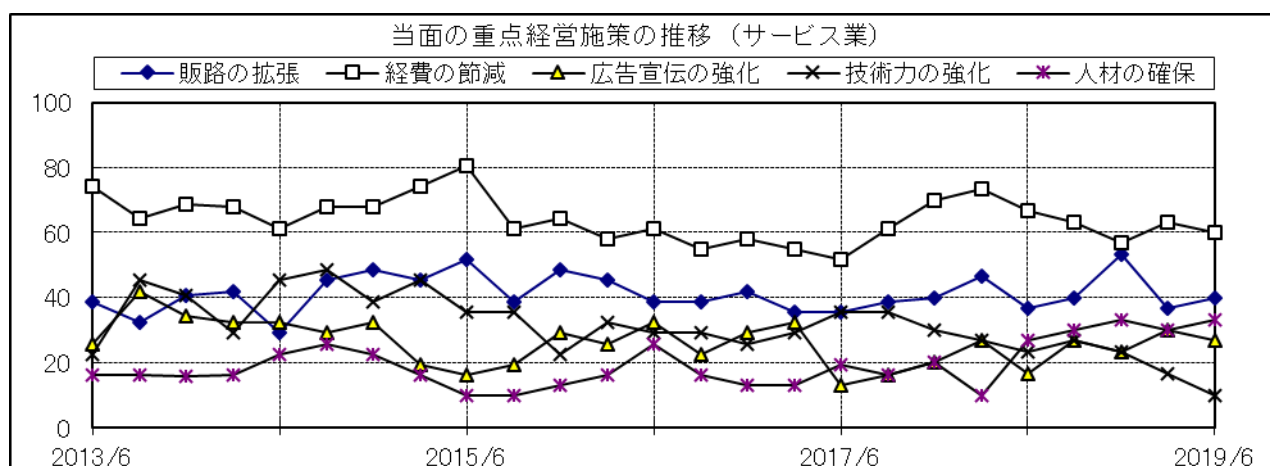
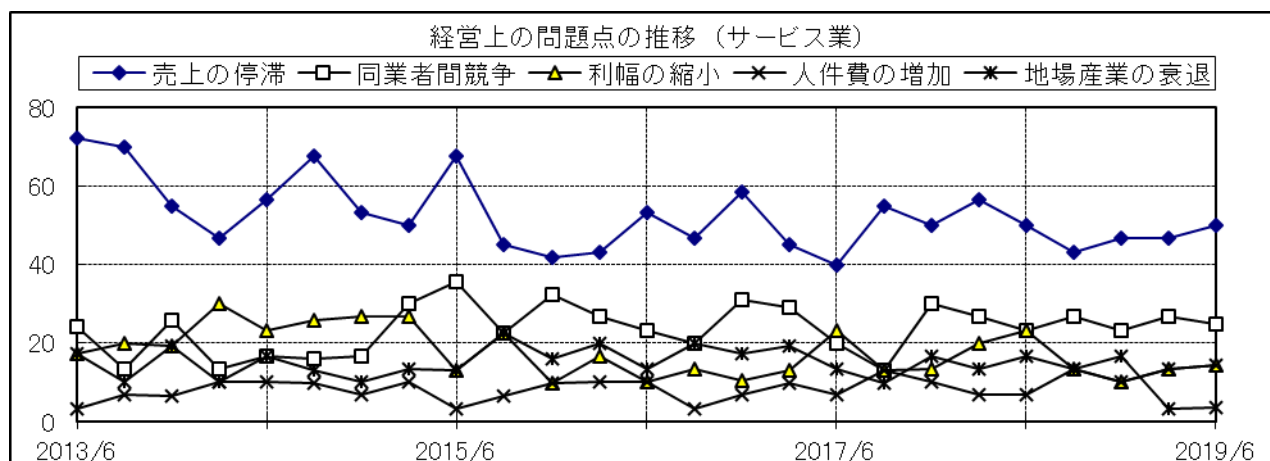
設備投資の充足感を示すD.I.は△3.4で、前期(△0.1)比3.3ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は10.0で、前期(13.3)比3.3ポイント下降した。設備投資は、前期4社に対し、3社の実施となった。来期の設備投資は2社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」・「商圈人口減少」が50.0%と最も多く、「人手不足」・「同業者競争」が25.0%、「利幅縮小」・「材料価格上昇」・「人件費増加」が14.3%、「店舗設備老朽化」10.7%、「大手企業競争」・「合理化不足」・「料金値下げ要請」・「取引先減少」が7.1%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が60.0%と最も多く、「販路拡大」40.0%、「人材確保」33.3%、「宣伝広告強化」26.7%、「技術力強化」・「教育訓練強化」10.0%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△10.0と、今期比3.3ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は△3.3と、今期比13.4ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は△6.6と、今期比6.7ポイントの下降を見通している。

予想料金価格判断D.I.は3.4と、今期と同水準を見通している。

予想材料価格判断D.I.は16.7と、今期比6.7ポイントの上昇を見通している。